

大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学ロサンゼルス校 現地言語： University of California, Los Angeles
留学期間	2022年6月～2022年9月
留学した時の学年	3年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	3年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年9月12日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：9月～12月下旬中旬 2学期：1月上旬～3月中旬 3学期：3月下旬～6月上旬 4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	44000
創元年	1919年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6,693.14	870975 円	
宿舍費	5,112.66	679983 円	
食費		円	宿舍費に含む
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	3000	405000 円	
被服費	250	33750 円	
医療費		円	
保険費	227	30660 円	形態：明大サポート
渡航旅費	1053	142220 円	
ビザ申請費	160	20800 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	16495.8	2183388 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：成田 目的地：LAX 経由地：	
復路 出発地：LAX 目的地：成田 経由地：	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社：シンガポール航空 料金：142220 円	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名： ） <input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名：skycanner） <input type="checkbox"/> その他（ ）	
滞在形態関連	
1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：Centennial） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 3）	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン（ <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可）	
4) 住居を探した方法：	
大学の Housing のホームページから	
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
寮は 3 つほど選択肢があったのですが、唯一冷房がついている寮が Centennial でした。友人の部屋を訪ねに様々な寮に行きましたが新しい建物という事もあり、一番快適な寮であると思いました。	
現地情報	
1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（治療を受けた場所： ）	
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等： ）	
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
ガイドブックを参考にした。	
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。（例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）	
日本で SIM カードを購入し使用した。大学内や寮には Wi-Fi が無料で使える。	
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）	
基本的にクレジットカード（VISA と American Express）を使用した。現金は主に友人と割り勘する際に使用した。	
6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
クレジットカードは 2 枚以上持つと安心	
7) 【授業料負担型の方】 授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。（例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。）	
渡航前にクレジットカードで払った	

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Learning American English and Culture from Movies	映画から学ぶアメリカ英語と文化
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	6週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とディスカッション（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Negrete, T
授業内容	映画を週に1本見て、その内容についてディスカッションを行う。
試験・課題など	試験は2回映画の内容についての筆記テストを行った。課題は指定された映画を見ることと、1週間に1回日記を書くこと
感想を自由記入	映画を通してわかるアメリカ文化について毎週の授業ディスカッションを行う。コミュニケーション学部の授業という事もあり、現地の高校に通う高校生や、インターナショナルスクールに通っていた日本人など、クラスメイトのレベルの高さに驚いた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Conversation and Fluency	会話と流暢さ
科目設置学部・研究科	English as A Second Language
履修期間	6週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とディスカッション（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	McGrath, K.K.
授業内容	グループで音読発表（ネイティブのアクセントや抑揚の仕方をまねる練習）、現地生にインタビュー（フィールドワーク）、グループでドラマ制作
試験・課題など	試験はない。課題は授業時間に終わらなかったことを行い、発表の準備を行う。
感想を自由記入	グループでおこなうアクティブな課題が多いため、時間を多くとられるが、その分チームメイトと仲良くなれる。ネイティブに近づく方法を学ぶため、前期にとっておいて良かったと思っている。日本人が多く、クラスメイトのレベルもそこまで高くないため、たくさん発言することができた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
Inside Hollywood		インサイドハリウッド
科目設置学部・研究科	Communication	
履修期間	6 週間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義とディスカッション（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 1 2 5 分が 2 回	
担当教授	Peterson, S.M	
授業内容	授業は基本対面で行われるが、ゲスト（メディア関係者）がくる際は ZOOM で行われることもあった。	
試験・課題など	2 回授業の内容についての確認テストがある。課題は Reading の予習と、2 回 assignment の提出がある。	
感想を自由記入	もともとは Public Speaking(ESL)の授業を取る予定であったが先生がおすすめして下さったこの授業に変更した。現地生もいる授業であるため難易度が高いがクラスメイトと協力し頑張った。また、office hour で先生に質問をし、遅れをとらないよう努力した。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
Public Speaking for Nonnative Speakers		ノンネイティブ スピーカー向けのパブリック スピーキング
科目設置学部・研究科	Communication	
履修期間	6 週間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義とプレゼン（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1 週間に 1 2 5 分が 2 回	
担当教授	Negrete, T.	
授業内容	スピーチを行う際の注意点やコツについてのレクチャーを受け、実際に週に 1 回スピーチを行う。	
試験・課題など	試験はない。課題はスピーチの原稿を作り暗記をし m クラスで発表をする。発表後に reflections を提出する。また、リスナーとしてクラスメイトの発表についてメモをとり、質問を行う。	
感想を自由記入	ESL の授業という事もあり、日本人が大半を占めていた。スピーチを行う際のアドバイスは英語だけではなく日本語で話すときにも役立つため、非常にためになった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2)進路決定の際に活用したウェブサイト，書籍，機関など
3)就職を選択した方は，差し支えなければ内定先を教えてください。また，その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は，差し支えなければ現時点で希望する業界，職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず，就職活動について感想・アドバイスをお願いします。（例：留学中の就職活動へ向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い，留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は，留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は，差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は，その進路を選択した理由と，留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備，試験勉強，留学中，留学後，特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強，選考，出願，ビザ申請・取得，航空券購入，予防接種，滞在先の確保，留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEICの勉強
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学カウンセラーに相談
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	カナダ1か月留学（明治大学のプログラムにて）
	4月～7月	4月ビザ取得 5月航空券購入 6月留学
	8月～9月	帰国
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

トップユニバーシティへ留学をするかどうか考えていた際、自分の英語力で通用するのだろうか、授業についていけるのだろうかという不安や恐怖を感じていた。しかし、実際行ってみると不安は一切なくなった。もちろん、自分の言いたいことが思うように伝えられなかったり、クラスメイトのレベルの高さに圧倒されたり、課題が中々終わらなかったりと苦労することも多々あった。だがそれ以上に、高い志を持った様々な国の友人に出会えたことが何よりも嬉しく、とても刺激をもらった。異なる文化や価値観を持つ友人と一緒にプレゼンテーションをしたり、課題を手伝い合ったり、また時にはパーティーに行ったり、誕生日会を開いてもらったりと、最高の思い出を作ることができた。コロナ禍ということもあり、オンライン留学も考えていたが、オンラインではこのような経験は得られなかったと思う。帰国した今も彼らと連絡をとり、お互いの国に行って再会しようと約束を交わした。もし留学することを迷っている人がいれば、勇気を出して挑戦することを強くお勧めする。